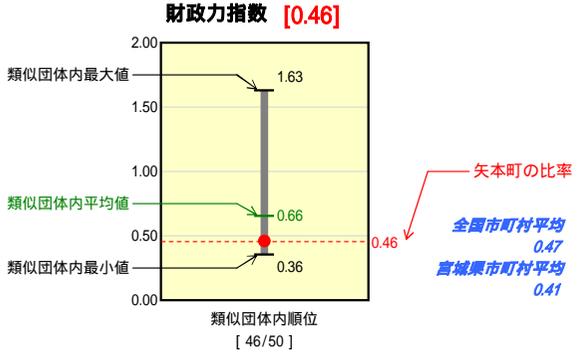


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

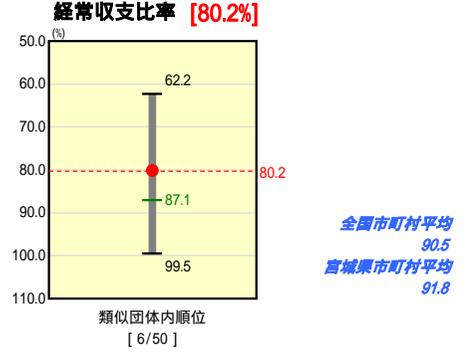
宮城県 矢本町

人口	32,267人(H17.3.31現在)
面積	49.81 km ²
歳入総額	12,747,561千円
歳出総額	12,423,365千円
実質収支	324,196千円

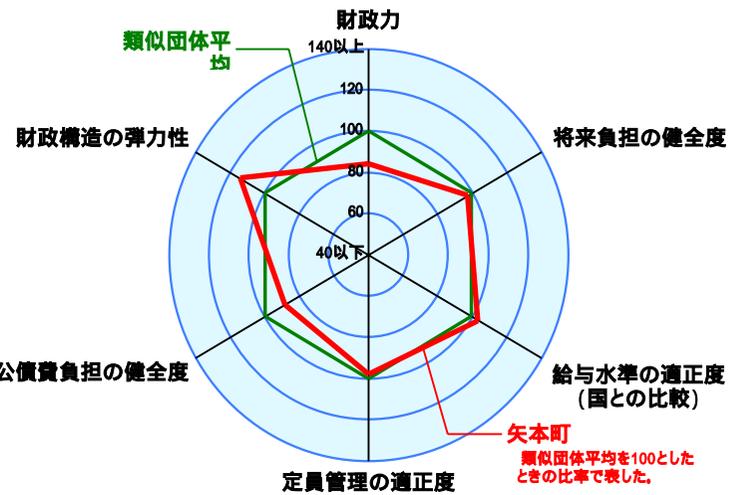
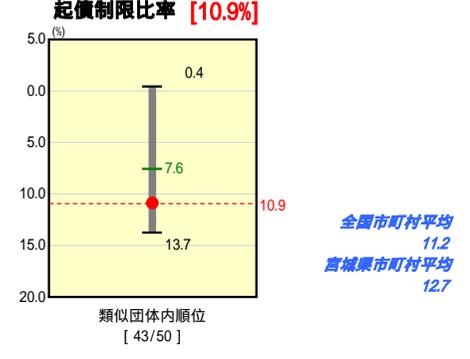
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
・ 地方税等における収入の確保に努めることで、交付税や国県支出金などへの依存型財政から、自立した財政運営を図る。

経常収支比率
・ 経常的経費の増加が想定されることから、組織・事務事業の見直しなど、経常経費削減を図り、類似団体と比較し、大幅に下回っている状況にある。今後も、実施計画、集中改革プランとの整合性を図り、行政改革の取り組みを通じて経常経費の削減に努め、市として適正な基準範囲での推移を図る。

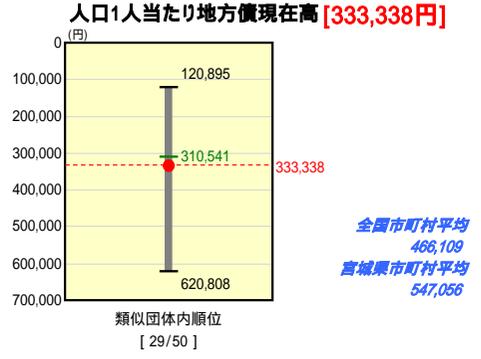
起債制限比率
・ 過去に実施した大規模事業の影響により微増傾向にあり、類似都市と比較し上回る状況にある。今後は、投資事業に関しては下降傾向にあるものの、宮城県北部連続地震に伴う災害復旧事業債の償還が開始となることから、今後実施する事業等においては、起債依存型の事業実施を見直すことで、起債制限比率の上昇の抑制を図る。

人口1,000人当たり地方債現在高
・ 健全財政運営を図るため、公債費の抑制を行ってきたが、宮城県北部連続地震の影響により、災害復旧事業債の発行により、類似団体平均と比較し、上回る状況にある。今後は、起債依存型の事業を見直すことで、住民の将来負担の軽減を図る。

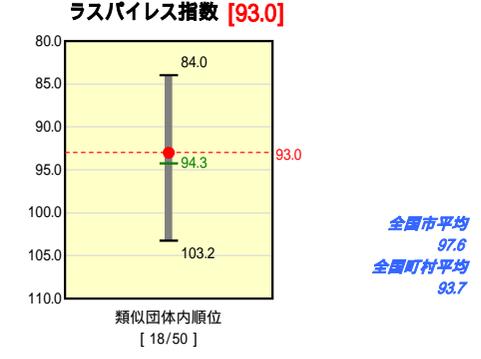
ラスパイレス指数
・ 組織の再編に併せ、給与体系の見直しにより適正化を実施し、類似団体平均と比較して下回っている状況である。今後も地域の民間平均給与と状況を見比べ、地域に見合った給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数
・ これまでの、人口増加に伴い、事務量の増加に対応するため、職員の補充を行ってきたが、その割合は、昭和49年と平成16年度の比較で、7.7%の増加と人口の47.6%の増加割合に対し、低い増加結果となっている。しかしながら、類似団体平均と比較し、上回る状況から、合併協議での今後10年における職員数の削減目標の50人を尊重し、適切な定員管理に努める。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

